

令和4年6月30日

## 富山県美術館開館5周年記念「ミロ展一日本を夢みて」開会式および講演会開催のご案内

富山県美術館では、令和4年7月15日（金曜日）に企画展「富山県美術館開館5周年記念ミロ展一日本を夢みて」の開会式を、また7月16日（土曜日）、8月6日（土曜日）に講演会を開催しますので、ご案内いたします。

### 1. 「ミロ展一日本を夢みて」開会式

#### 日時

令和4年7月15日（金曜日）15時00分～15時30分（受付は14時30分から1階総合受付横にて行います。）

#### 場所

富山県美術館 2階 ホワイエ

#### 内容

開会あいさつ、来賓紹介、協力紹介、主催紹介、祝電披露、テープカット、展覧会内覧

#### 出席予定者

フランシスコ・コパード・カラレーロ氏（ピラール&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ館長）、富山県副知事、主催者など

#### その他

報道関係の方につきましては、腕章の着用をお願いいたします。

※開会式はご招待者のみとなります。

※当館では、新型コロナウイルス感染症予防のため対策を行っています。ご来館の際には、感染予防および拡散防止にご協力をお願いいたします。詳しくは当館ホームページをご覧ください。<https://tad-toyama.jp/news/11075>

### 2. 講演会

## 第1回 「ミロが見た日本、日本が見たミロ」

---

### 日時

令和4年7月16日（土曜日） 14時00分-15時30分（約90分）／開場は13時30分

### 会場・定員

富山県美術館 3階ホール ／定員50名／申込不要／参加無料

### 講師

愛知県美術館 主任学芸員 副田一穂氏

### 内容

本展企画者の一人である副田一穂氏による講演会です。ミロが日本美術とどのように親しみ、また日本の批評家や美術家たちが「ミロと日本」についてどのように受け止め、展開してきたのか、時代背景とともに辿ります。

### 講師プロフィール

副田一穂（そえだかずほ）



福岡県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻（美術史学）修了。愛知県美術館主任学芸員。主な企画展覧会に「トライアログ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション」（2021年、共同企画）、「ミロ展——日本を夢みて」（2022年）など。近年の論文に、「〈夢の絵画〉から『絵画の殺害』へ——ジョアン・ミロとシュルレアリスム」、「（反）バルセロナの画家、ジュアン・ミロ」などがある。

## 第2回 「ジュアン・ミロと瀧口修造」

---

### 日時

令和4年8月6日（土曜日） 14時00分-15時30分（約90分）／開場は13時30分

### 会場・定員

富山県美術館 3階ホール ／定員50名／申込不要／参加無料

### 講師

慶應義塾大学 准教授 松田健児氏

## 内容

本展学術協力者であり、カタログに「ジュアン・ミロの初来日一訪問先と日本との関係の変化」を寄稿されている、松田健児氏による講演会です。富山ゆかりの詩人・美術評論家の瀧口修造とミロの交流を主軸としながら、展覧会の出品作品をご紹介します。

## 講師プロフィール

松田健児（まつだけんじ）



熊本県生まれ。上智大学外国語学部イスパニア語学科卒業、学習院大学大学院博士後期課程退学、マドリード・コンプルテンセ大学博士課程 DEA 取得退学。慶應義塾大学商学部准教授。著書に『もっと知りたいピカソ改訂版』（共著、東京美術）『スペイン美術史入門』（共著、NHK 出版）などがある。

## 学芸員によるギャラリートーク「ミロ展のここを見ろ！」

### 日時

令和4年7月23日（土曜日）、8月20日（土曜日） 各日 14時00分-（約1時間）

### 場所

富山県美術館 2階 展示室2・3・4（開始時刻に企画展入口にお集まりください）

### 参加費

無料 ※企画展チケットが必要です

**MAKE  
TOYAMA  
STYLE**  
BEYOND CORONA, WITH US

